

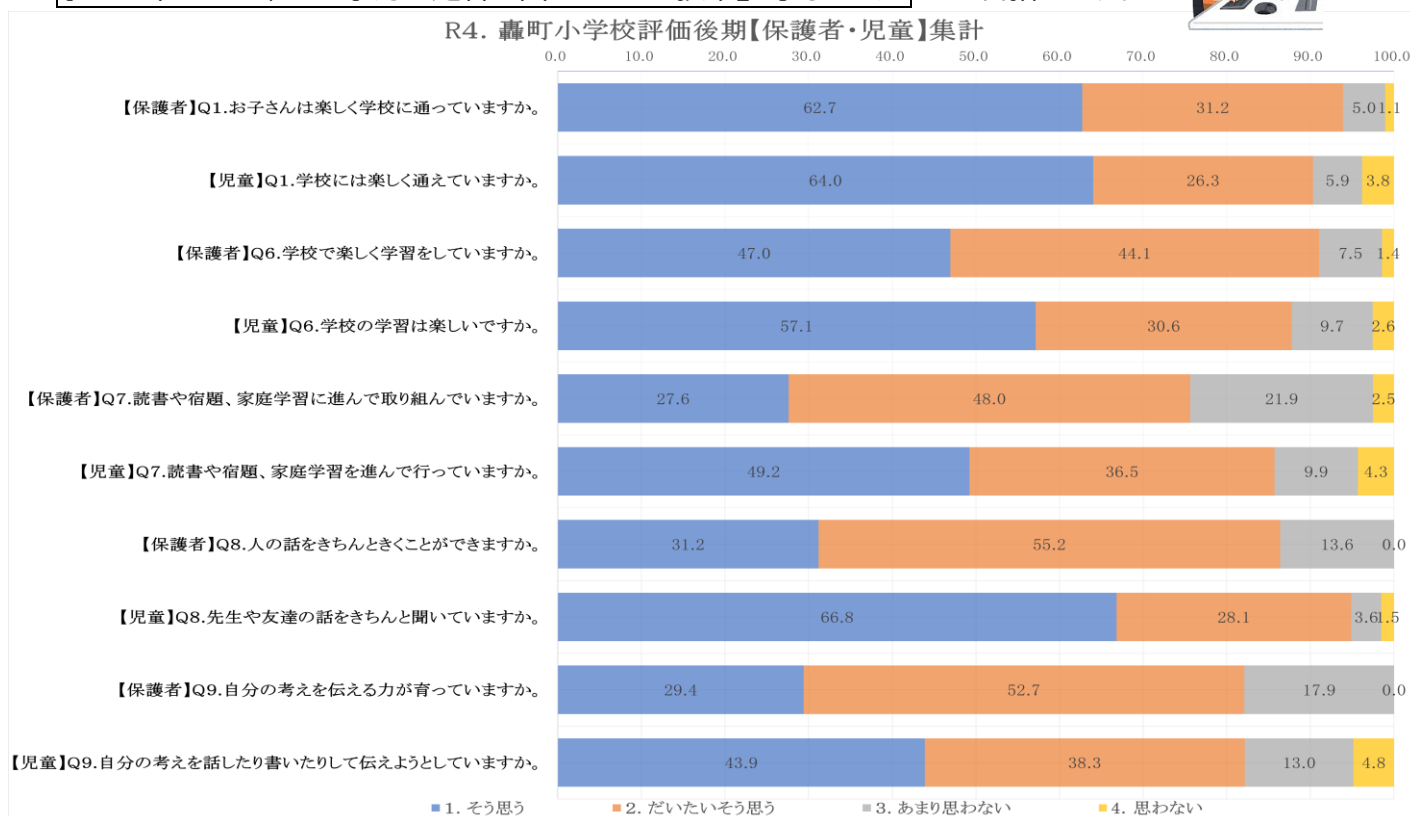
令和4年度轟町小学校【学校評価】結果・考察の報告

ご協力いただきました学校評価のアンケート結果が、下記のとおりまとまりましたので、その考察とともにお知らせいたします。来年度は、「誰一人取り残さない 一人一人を大切に作る教育」を基本理念に、「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」を学校教育目標に据え、「挨拶と温かい言葉が行き交う楽しい学校」を目指し、全教職員で一人一人の子供の能力を伸ばしていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様の声に耳を傾け、さらに充実した教育活動が実践できるように努力して参りますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

学校教育目標 **自ら学ぶ意欲をもち 心身ともにたくましく生きる子供の育成**

【知育】 進んで学ぶ子 ～自分で考え判断し主体的に活動する子～

学びの楽しさと確かな学力の定着を図る『わかる授業』 **学びづくり** を 目指します。



Q1「学校に楽しく通っている」、Q8「先生や友達の話さをきちんと聞いている」の問いに対して、「そう思う」「少しそう思う」と回答(肯定的回答、以下同様)した児童は 90%以上です。学校としては嬉しく安心できる数字です。一方、子供たちの「学校は楽しい」と感じる理由が様々ある中で、学校として最も大切にしていかなければならない要素は、Q6「学校で楽しく学習している」かどうかです。子供たちの学習が「わかった」「できた」=「授業が楽しい」と感じられる授業を、私たち教員ができているかを振り返る上で、Q6 の87%の肯定的回答は、決して高くありません。今後、「誰一人取り残さない教育」をキーワードに、児童の興味・関心がより高まるような学習支援(様々な体験学習や専科授業、少人数指導の導入による個々の力に応じた学習支援等)や児童の主体性、思考を大切にした授業構成など、教職員一同、研修を深め、より「わかる授業」が実施できるようにして参ります。その中で児童の主体的に学習に取り組める姿勢を高め、保護者の皆様のご協力もいただきながら、Q7「読書や宿題、家庭学習を進んで行っている」保護者肯定的回答75%の数値を高めていくことにつなげたいと考えます。

Q9「自分の考えを話したり書いたりして伝えている」の問いは、他の設問に比べ肯定的回答が保護者、児童共に高くありませんでした。昨年度から導入されたギガタブは、考えを伝えることのできるツールの一つとして定着されつつあります。ギガタブで自分の考えを友達に伝える経験を積んでいる一方、今までの学校教育で培ってきたアナログ的な伝え方、「話をする」「書く」についても自信をもってできるような学習機会も、同時に作っていくことが重要です。前述の児童の主体性を大切にした授業構成を行うとともに、制限が緩和されてきた様々な行事において、子供たちが役割を担い、大勢の前で活動・活躍することにより、自信をつけていく機会なども、数多く作っていきたいと思います。



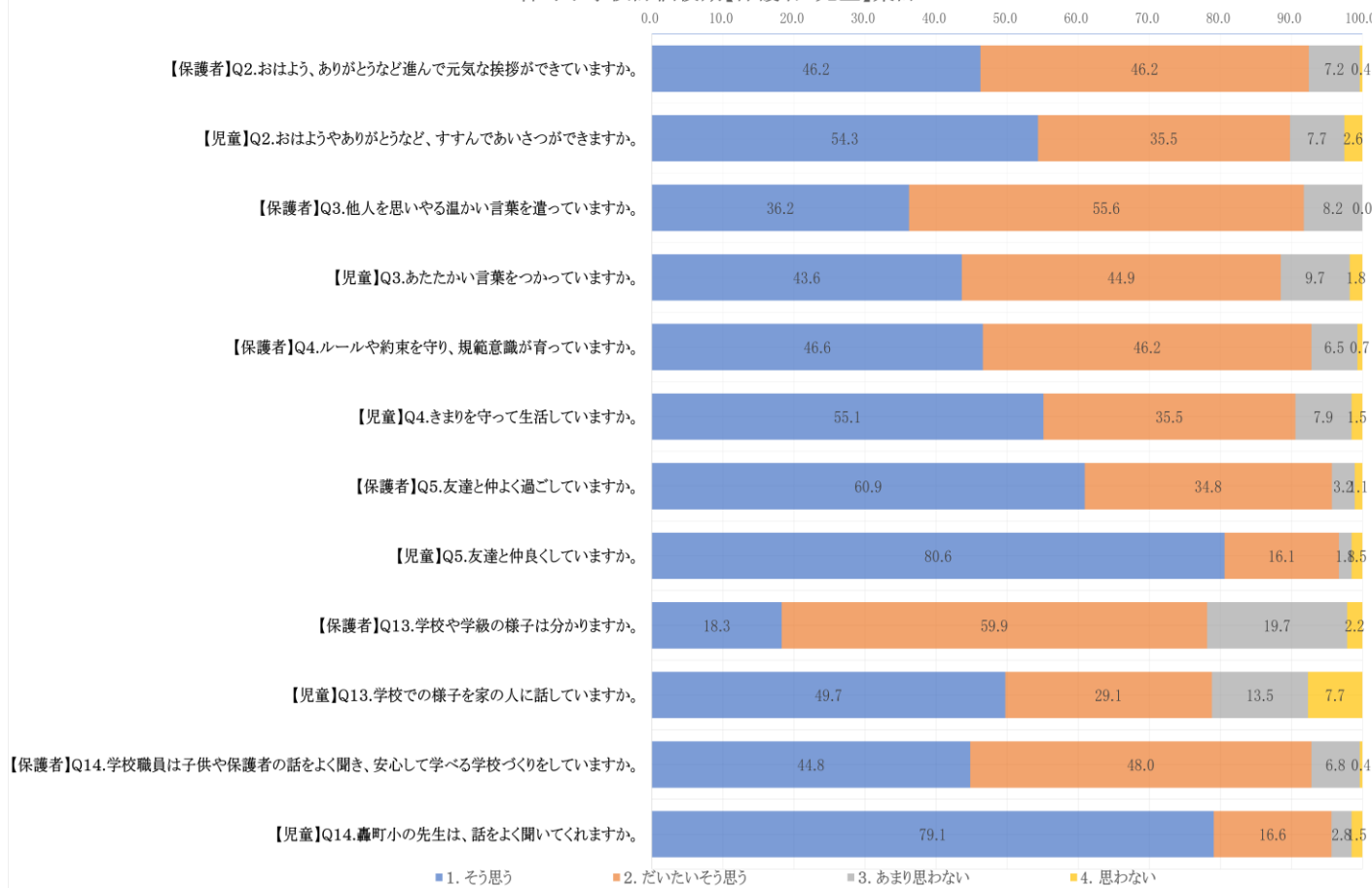
【徳育】 思いやりのある子 ～友達の良さがわかり 思いやりのある子～



笑顔いっぱい『夢広がる学校』心づくり

互いが高め合う『楽しい教室』仲間づくり を 目指します。

R4. 轟町小学校評価後期【保護者・児童】集計



「挨拶と温かい言葉が行き交う学校」を目指す中、それに係る Q2 と Q3 の質問項目をはじめ、多くの項目で児童・保護者共にほぼ 90%が肯定的回答です。特に Q5「友達と仲良くしている」、Q14「先生は話をよく聞いてくれる」では児童の95%以上が肯定的回答でした。学校にとっては大変うれしい結果です。子供たちはやはり、友達との関わりの中で育まれます。約3年に渡るコロナ禍により、その関わり方が難しい面もあった中、友達と仲良くできていると感じている点は、安心できる要素です。また、年2回の教育相談週間をはじめ、一人一人の子供の思いを受け止めようという教職員の姿勢が評価されたことにも安堵の気持ちです。これからも個々の児童に寄り添いながら、教職員と児童のより強い信頼関係を築いていきます。

Q13「学校や学級の様子がわかる(保護者)」「学校での様子を家の人に話している(児童)」の問いは、肯定的回答は児童79%、保護者78%でした。前期の学校評価において保護者の回答が65%であったため、「情報発信」を後期の学校としての最優先課題として捉え、各学年主任を中心に対策会議をもちました。その中で決定した試みとして、ギガタブにおける「発表ノート」や「クラスルーム」を活用して、学校での学習成果(スライド、写真、動画等)を積極的に家庭へ発信して参りました。保護者の皆様からはギガタブを通して、好評なコメントを頂くことができました。また、子供たちも嬉しそうに担任に報告する姿も見られました。このような学校と家庭相互でお子さんの頑張りを認め、励ますことができる機会を、今後も検討して参ります。

子供たちの学校生活の基本は学級であり、学級での活動を計画的に進め、話し合いながら自分たちで自分の生活をより良くしようとする子供を育てたいと考えます。一方で、家庭での話し合いも大切です。「学年だより」や「学校だより」などが配付された際は、掲載されている記事の様子を聞くなどして、ぜひ、お子さんと話す機会を増やすようお願いいたします。また、様々な制限が緩和される来年度、「学習参観」や「懇談会」、長期休業前の「個人面談」をはじめ、運動会やバザーのお手伝いなど多くの行事に保護者の皆様に参加・参画していただきたいと考えています。学校の教育活動にご理解をいただくとともに、保護者の皆様と連携を密に協力し合いながら、子供たちを育てていけたらと考えます。



【体育】 たくましい子 ~心身ともに健康で たくましい子~

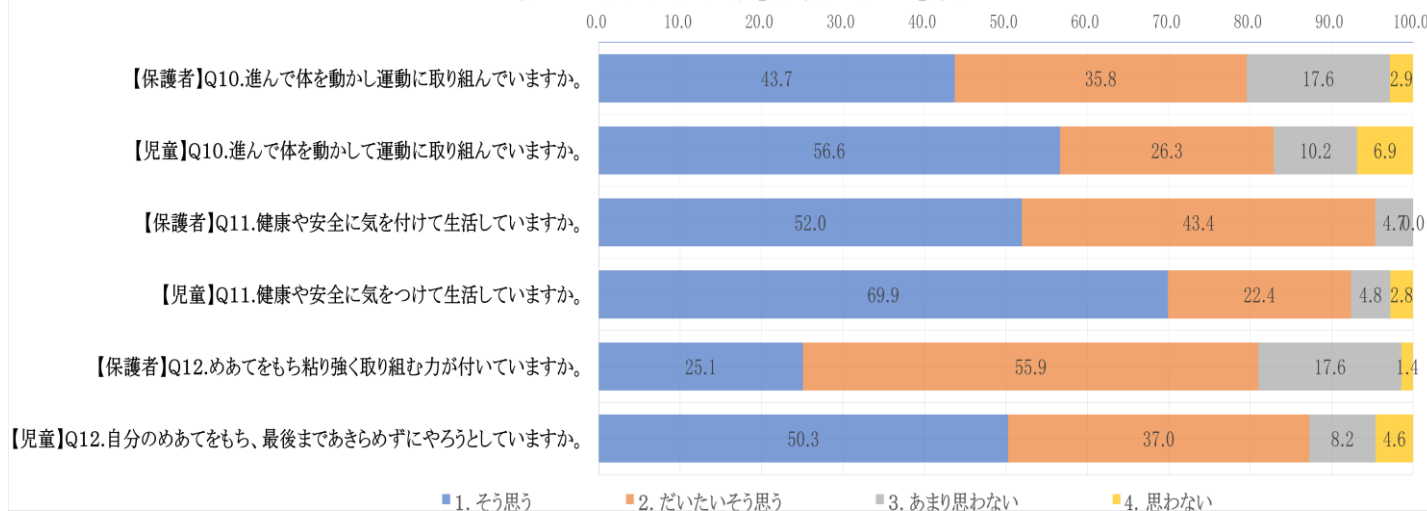


元気でたくましい『とどろきっ子』身体づくり

安心できる『安全な学校』安全づくり

を目指します。

R4. 轟町小学校評価後期【保護者・児童】集計



Q10「進んで体を動かして運動している」という問いに対して、保護者・児童共に肯定的回答が80%前後でした。コロナ禍による運動制限や大規模改造工事による運動場の使用制限により、学校や家庭における運動機会が低下した影響によるものと考えられます。様々な制限が緩和される来年度以降は、体育学習の充実と休み時間における外遊びの充実を図っていきます。具体的には、自分の力に応じた課題やめあての達成に向けた授業づくり、ボールやフラフープ、竹馬や一輪車等の運動用具の充実やそれらを自由に活用して遊ぶことのできる環境づくりを進めていくことで、「進んで体を動かして運動したくなる」児童を育てていきます。また、今年度から取り入れた「新体力テスト診断システム」を活用しながら、学校と家庭相互にお子さんの体力の改善や伸びを確認し合い、長期的な視点で児童の体力改善・向上を目指したいと考えます。

Q12「自分のめあてをもち最後まであきらめない」という問いは、保護者と児童との肯定的回答に差異が見られました(保護者81%、児童87%)。学校においても同様ですが、コロナ禍を経験した子供たちを今後見つめていく大切な点として、大人の基準よりも子供たちの今の頑張り(「最後まであきらめずにやった」)を認め、達成感を数多く味わわせることが挙げられます。そして、校訓である「とどろきっ子は がんばる子」へ少しずつアプローチしていければと考えます。

Q11「健康や安全に気を付けて生活している」の問いは、保護者、児童共に90%以上が肯定的回答でした。コロナ禍で身に付いた「自己の健康を見つめる習慣」は今後も生かしていきます。また、大規模改造工事終了に伴う避難経路の確認や引き渡し訓練、方面別集団下校を想定した訓練等、今後工夫しながら実施して参ります。保護者の皆様のご協力も必要となる場合もございますので、よろしくお願いいたします。

(参考) R4. 轟町小学校評価【保護者】 前期[上段]後期[下段(網掛)]比較表 (%)

	Q1. お子さんは楽しく学校に通っていますか。	Q2. おはよう、ありがとうなど進んで元気な挨拶ができていますか。	Q3. 他人を思いやる温かい言葉を遣っていますか。	Q4. ルールや約束を守り、規範意識が育っていますか。	Q5. 友達と仲よく過ごしていますか。	Q6. 学校で楽しく学習をしていますか。	Q7. 読書や宿題、家庭学習に取り組んでいますか。	Q8. 人の話をきちんと聞くことができますか。	Q9. 自分の考えを伝える力が育っていますか。	Q10. 進んで体を動かし運動に取り組んでいますか。	Q11. 健康や安全に気を付けて生活していますか。	Q12. めあてをもち粘り強く取り組む力が付いていますか。	Q13. 学校や学級の様子は分かっていますか。	Q14. 学校職員は子供や保護者の話をよく聞き、安心して学べる学校づくりをしていますか。	Q15. 学校での学びは、地域や家庭の生活と結びついた生きる力を育んでいますか。
1. そう思う【前期】	55.6	40.4	24.7	41.7	54.5	39.0	29.0	28.2	24.1	40.4	49.3	21.4	10.8	36.3	28.5
1. そう思う【後期】	62.7	46.2	36.2	46.6	60.9	47.0	27.6	31.2	29.4	43.7	52.0	25.1	18.3	44.8	30.5
2. だいたいそう思う【前期】	39.0	46.3	64.8	51.2	41.5	51.5	44.7	58.8	54.5	36.0	46.6	50.4	54.7	55.0	59.6
2. だいたいそう思う【後期】	31.2	46.2	55.6	46.2	34.8	44.1	48.0	55.2	52.7	35.8	43.4	55.9	59.9	48.0	60.6
3. あまり思わない【前期】	4.6	12.7	10.6	7.0	4.1	8.4	21.4	12.2	20.9	20.3	4.1	27.1	31.2	8.1	11.1
3. あまり思わない【後期】	5.0	7.2	8.2	6.5	3.2	7.5	21.9	13.6	17.9	17.6	4.7	17.6	19.7	6.8	9.0
4. 思わない【前期】	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	4.9	0.8	0.5	3.3	0.0	1.1	0.0	0.5	0.8
4. 思わない【後期】	1.1	0.4	0.0	0.7	1.1	1.4	2.5	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	2.2	0.4	0.0

【保護者 自由記述より】

「学校として、指導の成果や良い点等」(後期)

○出来なければいけないことでも出来ないことがある上で、それだけで評価をせず、出来ていることや努力していることを見つめてくれて、評価をしてくださいました。そのことで、子どもは出来ないことがあっても頑張れば誉めてくれると思うことができ、前向きになりました。

【学校より】:子供たちを指導・支援する中で大切にしている点です。今後も個々に合った学習目標や課題に向けて認め、励ましながらの指導・支援に努め、子供たちを伸ばして参ります。

○挨拶をしてくれる子が多いのはいつも気持ちが良いです。轟中でもすれ違うと挨拶をしてくれる子が多いので、小さい頃から身についたことがそのまま生かされているのだと思います。

【学校より】:学校としても大変うれしい声です。「挨拶のあふれる学校」から「挨拶のあふれる地域」へとつながっていけば、これほど嬉しいことはありません。引き続き取組を進めて参ります。

○「すぐー」の活用がとても良いと思います。連絡事項、手紙等、すぐにわかり確認しやすいです。

【学校より】:更なる活用を、近隣の学校やすぐー運用元の市教委学事課とも相談しながら進めて参ります。

「学校へのご意見・ご要望等」(後期)

○放課後スクール(アフタースクール)があると助かります。働いている人も働いてない人も通えて、習い事もできる。都賀小学校にはあるのに、なぜ轟小学校にはないのですか。

【学校より】:「アフタースクール」の運用は、市教委生涯学習振興課の計画に基づき進められており、轟町小への導入は令和10年度からと聞いております。なお、「放課後子ども教室」は本校で実施しております。

○登下校の連絡アプリの導入はその後どうなったのでしょうか。

【学校より】:「ついたもん」の設置主管課である市教委学事課に問い合わせたところ、「設置業者の関係で、現時点において導入見込は立っていない」とのことでした。

○時々、おたよりの月の行事予定に、誰対象のものなのか分からないものがある(正月の競歩大会やモルック体験など)。対象は誰で参加するにはどうしたらいいか、詳しく書いてあるか問合せ先を書いてほしい。

【学校より】:紙面の都合もありますが、可能な限り次年度の「学校だより」に反映させていただきます。

○もし、もっと保護者に手伝えることがあればその都度声をかけていただきたいと思います。

○任意のボランティア活動などで、授業や子供の活動時にでも手伝える場面がもっとあっても良いと思います。

【学校より】:大変ありがたい申し出です。前述どおり、様々な制限が緩和される来年度以降、保護者の皆様とより連携を密に協力し合いながら、子供たちを育てていけたらと考えます。

○学校のトイレが汚すぎます。保護者が協力してトイレの清掃をする学校もあると伺ったことがあります。(弁天小学校など)子供達が過ごしやすい場所作りのため、衛生面を再度ご確認くださいと思います。

【学校より】:大規模改造工事に伴い、すべてのトイレが新しくなりました。今後は清潔さを維持していくための掃除・管理の仕方等を、保護者の方々の協力も含めて検討させていただきます。

○国語 18 マスのノートはいろんな店を探してもないことが多く、見つけるのに苦労しました。最初の1冊を支給してもらうなど、対策してもらいたいです。

【学校より】:新入生は最初の1冊のノートを年度当初に配付しています。他の学年においても検討して参ります。

○給食当番の白衣洗濯への意識の差があり、香りが強すぎることがあるし、動物を家の中で飼っている家も多いと思うので、学校で洗うとか、クリーニングとかできないかなど、思います。白衣を1人1着でもいいかと。

【学校より】:学校において全白衣を毎週洗濯したり、クリーニングしたりすることは困難です。ご家庭において、「エプロン」を用意していただくなど、お子様に合わせた工夫をしてくださるとありがたいです。

○運動会をぜひ普通の形に戻して欲しいです。みんなで騎馬戦やったり、応援合戦したり、どうかお願いします。

【学校より】:昨今の気候(5月中旬~下旬の暑さ)の影響(熱中症等)に合わせた在り方も含めて検討しております。運動会やその練習を通して子供たちにどんな力を付けさせたいか、その目的を改めて考え、そこを基準に内容や種目等を考えて参ります。

○穴川神社の節分祭の時間が変更となってびっくりしました。今までずっと 16:00~でした。

【学校より】:3年ぶりの開催に向けて、穴川神社様と学校側が直接、事前協議を行い15:50開始といたしました。「とどろきスタンダード」(轟町小のきまり)に示されている帰宅時間(16:30)を鑑み、設定しました。学校としても継続してもらいたい地域の神事「節分祭」に、本校児童が安全に参加し続けられるよう、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

その他、数多くの学校の良い点やご意見をいただきありがとうございました。すべての内容は全職員で共有し、励みになったり、改善点や課題が明確になったりと、有効に扱わせていただいております。

来年度の学校評価へのご協力もどうぞよろしくお願ひいたします。

